

ようじえんだより 2018年度9月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

9月主題『はずむ』

主題聖句：ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。

ルカによる福音書19章6節

☆ 0～2歳児：保育者と一緒に今を感謝し、まわりの人や友だちのために祈る。いろいろなことに関心を示し、自分で試そうとする。移りゆく季節に目をとめたり、耳をすます。

☆ 3～5歳児：私たちの平和な日々を感謝し、神さまの望まれる平和の大切さを共に考え、祈る。これまでの遊びに加え、夏の経験からの遊びが始まり、試したり相談したりしながら友だちの関係が広がる。空・星・虫など自然の変化に興味をもち、友だちと思いを通わせながら関心を深める。生活リズムを取り戻し、見通しをもって生活する。

「レジリエンス」の大切さ

幼児教育の世界で昨今流行りのキーワードがあります。「非認知能力」「アタッチメント」「レジリエンス」です。「非認知能力」は園だより7月号でも触れましたが、「数値化できない能力」のことです。記憶力や知識ではなく、想像する力協力する力なども「非認知能力」に入る重要な力でしょう。「アタッチメント」は触れ合いのことで、特に乳幼児期は何かを教え込むのではなく、抱っこなどの身体接触やもっと進んで愛着形成や信頼関係の構築が安定した人格を育むことが知られるようになりました。

「レジリエンス」はしなやかな心とも訳されますが、これは「折れない鋼鉄のような心」を意味するわけではありません。心折れるような体験をしても、周囲の支えによってまた立ち上がり、歩みだす生き方、と言えるでしょう。すべてがうまくいっていても、一度の失敗ですべてを失うようでは、今の時代を生き抜くのは至難の業で

しょう。むしろ生きにくさや難しい出来事があることを承知の上で、それでもなお喜びや希望を見つけて歩む力が必要だとされるのです。

ザアカイさんから学ぶ

今月の主題聖句にザアカイという人物が出てきました。ザアカイは多くの雇人を抱えたお金持ちでした。しかし彼は友だちがいなかったのです。彼の日頃の言動に問題があった部分もあったのですが、そんな彼とイエス様は出会い「ザアカイ降りてきなさい。今晚、あなたのおうちに泊まります」とイエス様は呼びかけたのです。ザアカイはうれしくなり、心躍り、そして今までの威張っていた自分を恥じ入り、生き方を変えたのです。

レジリエンスを手に入れるには、幼い頃から受け入れられて安心して過ごすことです。それは甘やかしではなく、将来困難にぶち当たっても、それを乗り越えていく力になるのです。

園長：久保田愛策

年間主題『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

主題聖句：愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。

新約聖書 ヨハネの手紙I 4章11節